

社協が紹介したい 地域の人

vol.9

今回ご紹介する植田さんは、平成19年12月に北郷地区民生委員に就任され、平成25年からは美郷町民生委員児童委員協議会の会長として、現在まで民生委員の活動にご尽力されています。

民生委員制度は今年創設100周年を迎え、8月24日には宮崎市で記念大会が開催されました。

100周年を迎えて植田会長は、「美郷町では現在、民生委員36名・主任児童委員5名が日々奮闘中です。少子高齢化や人間関係の希薄化などを背景に、社会や家族の姿は大きく変化しました。生活・福祉問題も多様化・深刻化しており、委員に期待される役割は量・質ともに増大しています。私達は委員の負担増や担い手不足など、運営上の課題にも向き合いながら、住民の目線に立った活動を続けています。「福祉」に正解はないと思いますが、100周年を契機に、今一度先人達の思いを汲み、委員と住民が力を合わせ、みんなで支え合う住みよい町づくりを進めていきたいと考えています。今後とも住民の皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。」とおっしゃっていました。

今後も植田会長を始め、民生委員児童委員のみなさんのご活躍に感謝しつつ、社会福祉協議会も連携・協力体制を強化していきたいと思っています。



美郷町民生委員児童委員協議会
会長 植田恒夫さん

災害復旧支援ボランティアに参加しました

九州北部豪雨災害の復旧支援のため、8月4日、美郷町の有志16名(民間3名・行政4名・社協9名)で福岡県東峰村災害ボランティアセンター 宝珠山サテライトでのボランティア活動に参加しました。

現地に入った参加者の目に入ってきたのは、1ヶ月以上経っているにもかかわらずまだ残っている災害の爪痕でした。

生活用水路の泥だし等1日だけでしたが、精一杯の活動をさせていただきました。活動を終え、帰路に着く車中では、「今後も継続的にボランティア活動を行っていこう。」という前向きな意見もあり、被害の甚大さ、美郷町住民の温かさを感じたところでした。

美郷町社会福祉協議会では、今後も本災害に対し、復旧・復興支援のためのボランティア活動を計画していきますので、参加を希望される方は、各地区の社協にお問い合わせください。



美郷町地域包括支援センター 認知症サポーターの仲間が増えました。



今回は、美郷南学園の7年生・8年生・9年生の生徒の皆さんと先生方、計38名が認知症サポーター養成講座に参加して下さいました。

参加者からは「認知症の方と距離をおかずに接していきたい。」「認知症サポーターの一員として頑張りたい。」などの声が聞かれました。認知症の方が住みなれた町で安心して暮らせるようみんなで見守り支えていきましょう。

美郷町地域包括支援センターでは、随時、認知症サポーター養成講座を行っております。少人数からでも開催いたしますので、養成講座を希望される方は下記までご連絡下さい。



<美郷町地域包括支援センター> 美郷町西郷田代29番地1 ☎0982-66-2477



いきいき百歳体操 お世話役交流会を開催しました



8月9日、10日にいきいき百歳体操を実施しているグループのお世話役さんを集まって頂き、交流会を開催しました。意見交換会では、体操参加者の効果の報告や、お世話する中での相談事、体操以外でのグループ活動の紹介など様々な意見が出て、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。意見交換会の後は、スクエアステップという新しい運動を体験して頂きました。お忙しい中、ご参加ありがとうございました。



西郷地区



南郷地区



北郷地区



意見交換会の様子



スクエアステップ体験の様子